

個人情報の漏洩チェック

JJ1SXA/池

自分の個人情報が流出していないかをチェックするサービスがある、以前は有料のサービスだったが、Google が、Google アカウントをもっていれば誰でも利用できる「ダークウェブレポート」というのを無料開放した。

「ダークウェブ」とは、特殊なブラウザのみでアクセスでき、身元や位置情報を隠して利用できるインターネットの領域(アクセス方法は後述)、密売などの違法行為のほか、機密情報の共有や盗まれた個人情報の売買にも使われている。

ダークウェブに流れる主な原因は、起業からの情報漏洩か、マルウェアだとされる。(マルウェア=コンピューターやネットワーク、サービスなどのプログラム可能なデバイスに害を与えたり、悪用したりすることを目的としたソフトウェアの総称)

「ダークウェブレポート」を使うと、ここに自分の情報が流出しているかチェックできる、利用するには、Google のサービスページ(myaccount.google.com)にログインして、アカウントのアイコンをクリックし、「Google アカウント管理」ページを開いてアカウントページの左側で「セキュリティ」を選び、右側の画面をスクロールすると現れる「ダークウェブレポート」欄で「使ってみる」を選び、案内ページで「モニタリング開始」をクリック。

左の画面で、監視したい情報にチェックをつけたら、右下にある「許可」をクリック、モニタリングを開始すると、その時点で漏洩があれば、「○件のデータ侵害によって…漏洩しています。」と表示され、どの情報が漏洩しているか示される。

漏洩したもの(例えばメールアドレス等)が表示されたら、「すべての結果を表示」をクリックすると、詳細が表示され、どのサービスからいつ流出したかわかる。

流出が確認された場合は、2段階認証の設定や、パスワードの変更などの対策が必要だ。(過去の漏洩記録が表示されるため、漏洩した情報は、その時点で設定されていた名前やパスワードと考えられ、その後でパスワード変更などを行って対策してもこの表示は消えないようだが、いつ漏れたかの日付で新しい情報かどうかはわかる)

ちなみに、私の場合、現時点(2024年10月)では、「モニタリング中のプロフィールの項目のうち、ダークウェブ上で検出されたものはありません。」と表示されました。

*ダークウェブにアクセスする方法は、下記 URL から。

<https://www.expressvpn.com/jp/blog/how-to-access-the-dark-web/>

Tor(The Onion Router)はそれ自体が強固で安全なプライバシーツールですが、VPNと組み合わせることで、プライバシーを強力に保護し、Tor ネットワークがブロックされている状況や場所でもアクセスすることができます。

ダークウェブは秘匿性が高いことから、プライバシー確保のために合法的に利用されています、一方で、マルウェアを含む違法コンテンツも多く存在します、利用する場合はリスクに注意が必要…自己責任で。

(2024年10月記)